

—エンドユーザーである市民との連携をめざして—

水環境NGO・NPO等のご紹介

■特定非営利活動法人 雨水市民の会

〒131-0032 東京都墨田区東向島1-8-1

TEL: 03-3611-0573, FAX: 03-3611-0574

ホームページ: www.skywater.jp

E-mail: office@skywater.jp

事務局開設時間: 月～金の14:00-17:00

メンバー

理事長 徳永 暢男, 理事19名

顧問 辰濃 和男 (前雨水市民の会会長)

高橋 裕 (東京大学工学部名誉教授)

小山 康正 (東邦大学薬学部名誉教授)

会員数約200人 (正会員, 賛助会員, 学生会員)

ようこそ雨水市民の会へ!

21世紀は気候変動の影響により大洪水と大渇水の到来が心配されています。それは人口の増加とあいまって食の危機も引き起こすかもしれません。また世界では11億人もの人たちが安全な飲み水を確保できていません。私たちは、雨を活かすことによって人類が直面するこうした水危機を解決していきたいと考えています。

雨は大地と海と空の間を循環しながら生命を育てています。日本の豊かな水と緑も、恵まれた海と山の幸も、日本独特の文化もみんな豊かな雨のおかげです。また雨はだれもが平等に手にいれることができる水資源です。私たちは生命と文化育む雨をもっと大切に、貴重な雨をもっと有効に活用したいと思います。

雨に関心のある方ならだれでも活動に参加できます。あなたも雨水市民の会の活動に参加して雨とふれあいを取り戻してみませんか。雨の日がきっと楽しくなります。

沿革

NPO法人雨水市民の会は、1994年に“雨水利用は地球を救う”をテーマに墨田区で開催された『雨水利用東京国際会議』の成果を受け、21世紀の水危機を打開していくために、1995年に「雨水利用を進める市民の会」として発足しました。2002年には、会の名称を



ニュースレター「あまみず」の表紙

「雨水市民の会」に改め現在に至っています。

会の名称を雨水市民の会に改めたのは、雨水利用という雨を人間のために即物的に利用するというイメージが強く、そこからは、雨が地球の水循環を作り、あらゆる生命を育み、ヒトも雨によって活かされ、文化も雨によって育まれてきたという雨に対する真摯な気持ちが欠けるように考えたからです。そこで、私たちは、雨に心から感謝し、雨を大切に活用させていただくという思いを込めて、会の名称の「雨水利用」から「利用」という2文字を取ることにしました。

雨水市民の会は、地域から地球規模へと雨水のネットワークの輪を広げ、雨を活かす社会を実現していくための以下のような多様な活動を展開しています。2006年には、雨を活かすミッションを持続可能な取り組みにしていくために、東京都の認証を受け、NPO法人化しました。

これまでの活動で特筆すべき成果としては、雨とくらし、文化そして生命といった雨の万華鏡ともいえる世界初の「雨の事典」の出版、雨水利用の先進自治体である墨田区から依頼を受けてすみだ環境ふれあい館において設置された「雨水資料室」の企画・制作およびバングラデシュにおける生命を救うスカイウォータープロジェクトの活動があります。

2008年9月からは、産官学民のゆるやかな雨水ネットワーク組織である「雨水ネットワーク会議」の事務局を務めています。2000年には、雨水活用プロジェクトで「日本水大賞」を受賞しました。

主な活動内容

1 雨に関する普及・啓発事業

1) 国内及び国際会議の開催

墨田区（1995年，1996年，1998年），沖縄市（1997年）及び高松市（2002年）で地元自治体と市民団体との協働による雨水利用に関する全国会議の開催。雨水東京国際会議（1995年，2005年）及び2003世界水フォーラム雨水利用in京都の開催。

2) 雨水資料室における子供から大人までの雨水に関する啓発活動

雨の絵本ひろば，雨塾，手作り雨水タンク講座など

2 雨に関する調査・研究事業

雨の文芸チームによる雨の文化研究，国内外の雨水利用調査研究



雨水ハウス



雨水市民の会がバングラデシュに設置した雨水タンク

3 雨に関する情報発信・出版事業

ニュースレター「あまみず」の発行，ホームページの開設，書籍としては，雨水利用の入門書である「やってみよう雨水利用」，「雨の事典」，アフリカ，中国，イラン，南米の雨水利用の調査報告書等

4 雨水の活用に関する技術開発及び技術者育成事業 雨水利用技術者養成講座の実施

5 雨水の活用による国際協力・支援事業

バングラデシュにおける飲用地下水のヒ素汚染対策としての雨水利用の普及

6 雨水の活用による災害救援事業

阪神淡路大震災被災地神戸市や新潟中越地震被災地への雨水タンク設置支援